



Sea級 グルメスタジアム

 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION
 海と日本 PROJECT

2020

エリアイベント 実施報告書

『森は海の恋人』
～豊かな森が豊かな海をはぐくむ！～

第1回目：2020年8月23日（日）信州大学教育学部附属松本小学校

第2回目：2020年9月13日（日）玄向寺／松本第一高等学校

 信越放送

1) エリアイベント開催概要

イベントタイトル	海と日本プロジェクト Sea級グルメスタジアム in 長野
イベントの ねらい・目的	次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とながらつながる日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として開催。高校生による小学生を対象とした授業を通して、地元の海の現状と課題を伝えます。
日程	1 回目：2020年8月23日(日) 2 回目：2020年9月13日(日)
開催場所	1 回目・・・信州大学教育学部附属松本小学校 2 回目・・・玄向寺／松本第一高等学校
参加人数	松本第一高等学校・・・10人 松本小学校・・・25人
主催	海洋キッズスクール実行委員会
協力	学校法人外語学園松本第一高等学校、信州大学教育学部附属松本小学校、有限会社あづみ野食品、ＪＲ東日本旅客鉄道株式会社、ＪＲ東日本リテールネット、玄向寺、松本地域こども応援プラットフォーム、信越放送株式会社

2) カリキュラム内容

テーマ	『森は海の恋人』 ～豊かな森が豊かな海をはぐくむ！～
開催日時	1 回目 2020年8月23日(日) 2 回目 2020年9月13日(日)
開催場所	1 回目・・信州大学教育学部附属松本小学校 2 回目・・玄向寺／松本第一高等学校
参加者	松本第一高等学校・・10人 松本小学校・・25人
講座次第	【1回目…8月23日(日) (座学)】 (1) 「海と日本プロジェクト Sea級グルメスタジアムin長野」全体説明 (2) ～座学～ ・高校生プレゼン (スライド、ノートを用いた講義) ①海についてのクイズ ②森は海の恋人～森と海の深い関係～ ③松枯れ被害～長野の森の環境問題～ ④塩の道～昔はどうやって魚を新鮮に運んだの？～ ⑤海なし県長野が開発した信州サーモンって？ (3)商品を開発・オリジナル商品開発 ・小学生に、商品のネーミングやパッケージ案を考えてもらう 【2回目…9月13日(日) (体験)】 (1) 体験① 「ざんねんな生き物辞典」の著者で動物学者の今泉忠明氏を特別ゲストに玄向寺の森を歩き、「森林」から「海」の大切さを学ぶ体験 「源流」や「松枯れ被害」について、玄向寺の森を歩き、実際に目にしながら学ぶ また、「ざんねんな海のいきもの」講座も実施 (2) 体験② 松本第一高校食物科の生徒による信州サーモンの捌き体験 授業の振り返りをしながら、オリジナル商品で使う信州サーモンを捌く (3) 商品開発・オリジナル商品の完成 オリジナル商品のネーミングやパッケージ案を決定し、商品を完成

講座内容

「海」への憧れがとても強い、海なし県長野。しかし、「海」は遠い存在のようではながら実は繋がっている。私達の住む信州の山の中へ、少し足を踏み入れると、「源流」がある。そこから生まれる豊かな水が人や動植物を育み、川となりやがて海へと注いでいるのだ。海と川、森や山との関係、自然の大切さ、海への理解と関心を深め、森と海との共生への道を考える。

【1回目(座学)】

- ①豊かな森が豊かな海を育んでいる
森や山から海に水や栄養が流れている
- ②長野で広まる森林の環境破壊
松枯れ被害について
- ③塩の道について
私達は昔から海のない場所に住んでいながら海の幸を食してきた。それを可能にした「塩の道」とは？
- ④海のない県が生み出した「信州サーモン」とは？
「地元の魚でもてなしたい！」との思いから生まれた信州サーモン
「信州サーモン」こそ長野県と海を近くしてくれた魚
- ⑤学びを生かしたオリジナル商品を開発
塩は海水を煮詰めて作られる。その海水の源は、山から流れ出した水
そんな「天然塩」と「信州サーモン」を使った、オリジナル商品を開発

【2回目(体験)】

- ①森の中を歩きながら、「森林から海の大切さを学ぶ」体験
特別ゲスト：今泉忠明先生
 - ・豊かな森が豊かな海を育んでいる
(森や山から海に水や栄養が流れている)
 - ・県内で問題になっている松枯れを実際に見学
(松くい虫の活動のほか、公害、土壤汚染など複合的な理由が重なっている場合も)
 - ・森の中にある女鳥羽川の源流を見学
(女鳥羽川は、犀川、千曲川を経て海へ繋がっている)
- ②ざんねんな”海”のいきもの講座
今泉先生と、高校生による「ざんねんな”海”のいきもの」講座を実施
クイズをしながら、小学生に、楽しみながら海の生き物について学んでもらい、海への興味や関心を深めてもらう
- ③高校生による信州サーモン捌き体験
授業の振り返りをしながら、オリジナル商品で使う信州サーモンを捌く体験
- ④オリジナル商品を完成させる
「天然塩」と「信州サーモン」を使った、オリジナル商品を完成させる

3) スケジュール

1回目 8/23(日)

時 間	項 目	備 考
8:00	スタッフ集合@松本小学校	検温・消毒・受付準備
8:30	受け付け(SBCスタッフ)	プロジェクター、DVD準備 (ノート、マジック、画用紙配布)
9:00	開会	
9:15	「海クイズ」 ～海について考えてみよう！～	
9:45	「森は海の恋人」 ～森と海の深い関係～	
10:00	「松枯れ被害」 ～長野の森が抱える問題～	
10:15	「塩の道」 ～昔はどうやって魚を新鮮に運んだの？～	
10:30	「信州サーモン」 ～海なし県長野が開発したサーモン？～	
10:45	商品を開発しよう！ ～商品名・パッケージを考えよう！～	趣旨説明
11:15	閉会	記念撮影
11:45	終了	

3) スケジュール

2回目 9/13(日)

時 間	項 目	備 考
8:15	スタッフ集合@玄向寺 駐車場	検温・消毒・受付準備
8:30	受け付け(S B Cスタッフ)	
9:05	開会セレモニー	M C 望月アナ
9:10	森に向かい出発	虫よけスプレー、殺虫剤準備
9:20	森林から海の大切さを学ぶ体験	特別ゲスト：今泉忠明先生
10:20	玄向寺会館へ戻り	
10:30	今泉先生と高校生による講座 ～ざんねんな海のいきもの～	特別ゲスト：今泉忠明先生
11:30	講演終了 & 記念撮影	
11:50	松本第一高校に移動	
12:00	昼食 & 休憩	お弁当準備
13:00	高校生による 授業の振り返りと、信州サーモン捌き体験	ゴム手袋準備
14:00	オリジナル商品の完成	
14:20	セレモニー 小学生感想、アンケート	
14:40	解散予定	

4) イベント内容

イベント1 内容

8/23 座学 (08:00~11:45)
In 信州大学教育学部附属松本小学校

小学生25名、高校生10名が参加し『森は海の恋人』
～豊かな森が豊かな海をはぐくむ！～をテーマに授業



海なし県長野にとって、海は遠い存在のように感じますが、実は切ってもきれない関係で繋がっています。そんな海と森の関係を、クイズ形式で楽しく学びました。また、長野で広まる森林の環境破壊「松枯れ」の問題についても学びました。高校生が描いたオリジナル漫画の昔話で、海の幸を食すことを可能にした「塩の道」、「天日塩」についても学びました。最後に、オリジナル商品の開発で扱う、海のない県が生み出した「信州サーモン」について、開発の歴史と共に学習しました。森が抱える問題や、海との関係を学んで、どうしたら海を大切に守れるのかを考えました。

イベント2 内容

9/13 体験（8：30～12：00）
In 玄向寺 及びその周辺

森の中を歩きながら「森林から海の大切さを学ぶ」体験。特別ゲストに、動物学者の今泉忠明先生をお呼びし、今泉先生と高校生による「ざんねんな海の生き物講座」を実施。



実際に森の中を歩きながら、海と森の関係を学びました。玄向寺の周辺には、長野が抱えている「松枯れ」問題や、やがて海に繋がるたくさんの「源流」がありました。森の中にあるこんなに小さな源流が、川を伝ってやがて大きな海に繋がっているということを、実際に目にしながら学びました。また、特別ゲストに動物学者の今泉忠明先生をお呼びし、先生と高校生による「ざんねんな海の生き物講座」を開催しました。クイズをしながら、小学生に楽しみながら海の生き物について学んでもらい、子供たちも海への興味や関心が深まったようでした。

イベント4
内容

9/13 商品開発（13：00～14：40）
In 松本第一高等学校



高校生の指導による、「信州サーモンの捌き体験」を実施しました。普段スーパーに並んでいる切り身と違い、一から魚を捌く大変さを学びました。自分で捌いた魚を食べた小学生たちからは、「おいしい！」「楽しかった！」との声。

またその後は、開発商品を「OH！！SAKEスモーク信州サーモン」とネーミング。小学生が鮭から海とのつながりとなるたくさん「お！！」を見つけたことや、お父さんの「おさけ」のおつまみにもピッタリということからネーミングされました。商品には、海の恵みである「天日塩」を使用し、シンプルな味付けながら、素材そのもののおいしさが感じられる一品に仕上げました。

達成状況

高校生からは、「海なし県に住んでいる私たちには海って全く関係ない存在なのかと思っていたけど、今回の事業を通して海の大切さと森と海のことを知ることができて、海って意外と近い存在なんだなと思いました。」、「学生の子供たちが、分からないことや、質問を素直に聞いてきてくれて、すごいなと思ったし、小学生の子たちと関わりながら体験が終わるところには海のことについて詳しくなった」などの声があがりました。

小学生からは、「海なし県で海が遠く感じて、意外と身近なところにつながっていることを学んだ」、「スーパーに売っている魚は捌かれているからよく分からないけれど、高校生の捌く姿を見たり、実際に体験してみると、捌く難しさがよくわかり、魚を大切に食べようと思った」、「自分の考えた名前やイラストが商品になると思うと、とても楽しみ」という声があがりました。

児童からは「身近な森と、少し遠い存在だった海がこんなに身近に繋がっていることが、びっくりだった」などの声が多くあがり、海を大切にするには身近な森も大切にしなければならない事を学びました。

次年度も学校関係者、水産会社など協力を仰ぎ、海なし県長野の子供たちに「海を身近に感じ、好きになってもらう事」や、「どうしたら海を大切に守れるのか」について、理解を深めていってほしいと思います。

オリジナル商品

OH!!SAKE スモーク信州サーモン



原 材 料 名	名称 信州サーモン燻製品 信州サーモン（ニジマス×ブラウントラウト）、			
	内 容 量 30g			
	賞味期限 2021.01.30			
	保存方法 直射日光を避け常温保存			
	販売者 有限会社 あづみ野食品 +AZU 長野県安曇野市豊科南穂高 4560 TEL.0263 (71) 2600			
本工場では小麦を含む製品を生産しています				
4 956427 086874				
お問い合わせ先 020-0120-06-1400		この表示は目安です		
栄養成分表示 (1パックあたり)				
熱量	タンパク質	脂質	炭水化物	食塩相当量
72kcal	10.1g	9.5g	0.1g	0.5g

Sea級 グルメスタジアム

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT

海マルシェ

12月8日（火）10:00～13:30
In トイーゴ広場



長野市の中央通り沿いにあるトイーゴ広場は、長野駅と善光寺を繋ぐ中心に位置しています。大通りを通る歩行者に積極的な声掛け、商品の紹介や説明をし、多くの人に足を止めてもらい、各エリアの商品を手にとってもらいました。商品を手にとった人々は、興味深く子供たちの作った商品を眺めていました。

報道一覧

①信越放送「信毎ニュース」



②信越放送「Nスタ内 ローカルニュース」

